

横須賀市病院事業会計予算

令和7年度横須賀市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和7年度横須賀市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

1 市民病院事業

(1) 病床数	339床	
一般病床	339床	
(2) 年間患者数		
入院	77,745人	
外来	116,216人	
(3) 一日平均患者数		
入院	213人	
外来	398人	
(4) 主要な建設改良事業		
建物改修		497,600千円
有形固定資産購入		155,045千円

2 総合医療センター事業

(1) 病床数	450床	
一般病床	444床	
感染症病床	6床	
(2) 年間患者数		
入院	109,135人	
外来	150,380人	
(3) 一日平均患者数		
入院	299人	
外来	515人	
(4) 主要な建設改良事業		
建物改修		22,000千円
有形固定資産購入		430,966千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収		入
第1款	市民病院事業収益	503,000千円
第1項	医業収益	272,743千円
第2項	医業外収益	229,257千円
第3項	特別利益	1,000千円
第2款	総合医療センター事業収益	961,000千円
第1項	医業収益	389,085千円
第2項	医業外収益	570,915千円
第3項	特別利益	1,000千円
	合計	1,464,000千円
支		出
第1款	市民病院事業費用	680,000千円
第1項	医業費用	648,921千円
第2項	医業外費用	29,079千円
第3項	特別損失	1,000千円
第4項	予備費	1,000千円
第2款	総合医療センター事業費用	2,135,000千円
第1項	医業費用	1,959,000千円
第2項	医業外費用	174,000千円
第3項	特別損失	1,000千円
第4項	予備費	1,000千円
	合計	2,815,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額332,453千円は、過年度分損益勘定留保資金247,020千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額85,433千円で補てんするものとする。）。

収		入
第1款	市民病院資本的収入	706,747千円
第1項	企業債	486,100千円
第2項	出資金	119,000千円
第3項	補助金	101,647千円
第2款	総合医療センター資本的収入	572,800千円
第1項	企業債	419,800千円
第2項	出資金	153,000千円

合 計	1,279,547千円
支 出	
第1款 市民病院資本的支出	862,000千円
第1項 建設改良費	652,645千円
第2項 企業債償還金	209,355千円
第2款 総合医療センター資本的支出	750,000千円
第1項 建設改良費	452,966千円
第2項 企業債償還金	297,034千円
合 計	1,612,000千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(単位 千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
市民病院 建物改修費に充当	395,900	普通貸借又は証券発行	8.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金についてはその融資条件により、その他の場合には借入れの日から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は本議決の範囲内で未償還額を借換えすることができる。事業の進捗等により起債額の全部又は一部を翌年度に繰越しあるいは限度額の範囲内において一時借入金又は短期債を起こすことができる。
市民病院 有形固定資産 購入費に充当	90,200			
総合医療センター 有形固定資産 購入費に充当	419,800			

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、次のとおりと定める。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 市民病院事業 | 500,000千円 |
| 2 総合医療センター事業 | 800,000千円 |

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- | | |
|-----------------|--|
| 1 市民病院事業 | |
| (1) 予定支出の各項間の経費 | |
| 2 総合医療センター事業 | |
| (1) 予定支出の各項間の経費 | |

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

1 市民病院事業

(1) 職員給与費 35,300千円

(2) 交際費 50千円

2 総合医療センター事業

(1) 職員給与費 35,300千円

(2) 交際費 50千円

(他会計からの補助金)

第9条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のとおりである。

1 市民病院事業 7,000千円

2 総合医療センター事業 7,000千円

令和7年2月13日提出

横須賀市長 上 地 克 明

令和7年度横須賀市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業収益			503,000	
	1 医業収益		272,743	
		1 他会計 負担金	255,000	一般会計負担金
		2 その他 医業収益	17,743	診断書料ほか
	2 医業外収益		229,257	
		1 受取利息	800	預金利息
		2 補助金	8,147	国庫補助金
		3 他会計 補助金	7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金	123,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻 入	23,958	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益	13,681	雑収入
		7 雑 収 益	52,671	還付消費税及び地方消費税
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益 修 正 益	1,000	過年度収入

款	項	目	予定額	備 考	
2 総合医療センター 事業収益	1 医業収益		961,000		
		1 他会計 負担金	389,085	一般会計負担金	
		2 その他 医業収益	368,000	診断書料ほか	
	2 医業外収益		21,085	570,915	
		1 受取利息		250	預金利息
		2 補助金		28,674	国庫補助金、県補助金
		3 他会計 補助金		7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金		243,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻入		20,508	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益		226,418	指定管理者負担金、雑収入
	3 特別利益	7 雑収益		45,065	還付消費税及び地方消費税
		1 過年度損益 修正益		1,000	過年度収入
	合計			1,464,000	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業費用			680,000	
	1 医業費用		648,921	
		1 給 与 費	35,300	給料、手当等ほか
		2 経 費	160,916	施設及び設備修繕費ほか
		3 減価償却費	433,205	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	19,500	固定資産除却費
	2 医業外費用		29,079	
		1 支 払 利 息 及び企業債 取扱諸費	16,862	企業債利息ほか
		2 雑 損 失	12,217	消費税及び地方消費税雑損失ほか
	3 特別損失		1,000	
		1 過年度損益 修正損	1,000	過年度支出
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

款	項	目	予定額	備 考
2 総合医療センター 事業費用			2,135,000	
	1 医業費用		1,959,000	
		1 給与費	35,300	給料、手当等ほか
		2 経費	229,892	施設及び設備修繕費ほか
		3 減価償却費	1,686,308	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	7,500	固定資産除却費
	2 医業外費用		174,000	
		1 支払利息 及び企業債 取扱諸費	168,388	企業債利息ほか
		2 雑損失	5,612	消費税及び地方消費税雑損失ほか
	3 特別損失		1,000	
		1 過年度損益 修正損	1,000	過年度支出
	4 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	
合 計			2,815,000	

資本的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的収入	1 企 業 債		706,747	
			486,100	
		1 企 業 債	486,100	建物改修、有形固定資産購入
		2 出 資 金	119,000	
		1 一般会計 出 資 金	119,000	
2 総合医療センター 資本的収入	3 補 助 金		101,647	
		1 県補助金	101,647	
			572,800	
		1 企 業 債	419,800	
	2 出 資 金	1 企 業 債	419,800	有形固定資産購入
			153,000	
		1 一般会計 出 資 金	153,000	
合 計			1,279,547	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的支出	1 建設改良費		862,000	
			652,645	
		1 建物改修費	497,600	市民病院中央棟外壁改修工事ほか
		2 有形固定 資産購入費	155,045	医療機械購入費
	2 企業債 償還金		209,355	
		1 企業債 償還金	209,355	病院改修事業費公債ほか
2 総合医療センター 資本的支出	1 建設改良費		750,000	
			452,966	
		1 建物改修費	22,000	移転後跡地仮囲い
		2 有形固定 資産購入費	430,966	医療機械購入費、什器・備品購入費
	2 企業債 償還金		297,034	
		1 企業債 償還金	297,034	病院改修事業費公債ほか
合 計			1,612,000	

令和7年度横須賀市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
(1)	当年度純損失	△1,436,434
(2)	減価償却費	2,119,513
(3)	資産減耗費	27,000
(4)	退職給付引当金の増加額	8,362
(5)	賞与引当金の減少額	△3,807
(6)	法定福利費引当金の減少額	△624
(7)	長期前受金戻入額	△44,466
(8)	支払利息及び企業債取扱諸費	185,250
(9)	未収金の減少額	1,534,511
(10)	未払金の減少額	△303,563
(11)	未払費用の減少額	<u>△241</u>
	小計	2,085,501
(12)	利息及び企業債取扱諸費の支払額	<u>△170,418</u>
	業務活動によるキャッシュ・フロー	1,915,083
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
(1)	有形固定資産の取得による支出	△1,003,417
(2)	補助金による収入	<u>101,647</u>
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△901,770
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
(1)	建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	905,900
(2)	建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△506,388
(3)	他会計からの出資による収入	<u>272,000</u>
	財務活動によるキャッシュ・フロー	671,512

4	資金増加額	1,684,825
5	資金期首残高	<u>4,965,813</u>
6	資金期末残高	<u><u>6,650,638</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位 千円)

区 分		職 員 数		給 与 費				法 定 福 利 費	合 計	
		特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬	給 料	手 当	計			
本 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	208	13,434	16,051	29,693	5,277	34,970
		総合医療センター			208	13,434	16,051	29,693	5,277	34,970
	資本勘定 支弁職員	市民病院								
		総合医療センター								
	合 計	市民病院	8	6	208	13,434	16,051	29,693	5,277	34,970
		総合医療センター			208	13,434	16,051	29,693	5,277	34,970
前 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	208	13,302	17,330	30,840	5,222	36,062
		うわまち病院			208	13,302	17,330	30,840	5,222	36,062
	資本勘定 支弁職員	市民病院		7						
		うわまち病院			29,891	25,837	55,728	11,389	67,117	
	合 計	市民病院	8	13	208	13,302	17,330	30,840	5,222	36,062
		うわまち病院			208	43,193	43,167	86,568	16,611	103,179
比 較	損益勘定 支弁職員	市民病院	0	0	0	132	△1,279	△1,147	55	△1,092
		総合医療センター (うわまち病院)			0	132	△1,279	△1,147	55	△1,092
	資本勘定 支弁職員	市民病院		△7						
		総合医療センター (うわまち病院)			△29,891	△25,837	△55,728	△11,389	△67,117	
	合 計	市民病院	0	△7	0	132	△1,279	△1,147	55	△1,092
		総合医療センター (うわまち病院)			0	△29,759	△27,116	△56,875	△11,334	△68,209

※1 手当には、退職給付費及び賞与引当金繰入額を含む。

※2 法定福利費には、法定福利費引当金繰入額を含む。

(単位 千円)

区 分		扶 養 手 当	地 域 手 当	期 末、勤 勉 手 当	管 理 職 手 当	時 間 外 勤 務 手 当
本 年 度	市 民 病 院	475	1,659	6,277	1,170	1,310
	総 合 医 療 セ ン タ ー	475	1,659	6,277	1,170	1,310
前 年 度	市 民 病 院	774	1,489	6,109	810	1,793
	う わ ま ち 病 院	1,966	4,750	19,570	2,550	5,984
比 較	市 民 病 院	△299	170	168	360	△483
	総 合 医 療 セ ン タ ー (う わ ま ち 病 院)	△1,491	△3,091	△13,293	△1,380	△4,674
区 分		退 職 手 当	通 勤 手 当	住 居 手 当		
本 年 度	市 民 病 院	4,181	349	630		
	総 合 医 療 セ ン タ ー	4,181	349	630		
前 年 度	市 民 病 院	5,451	326	578		
	う わ ま ち 病 院	5,451	1,270	1,626		
比 較	市 民 病 院	△1,270	23	52		
	総 合 医 療 セ ン タ ー (う わ ま ち 病 院)	△1,270	△921	△996		

※ 期末、勤勉手当には、賞与引当金繰入額を含む。

備考 病院事業会計の職員は、全て会計年度任用職員以外の職員

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳		説明	備考
給料	△29,627	1. 給与改定に伴う増減分	487		給与改定の状況 前年度 給与の改定率 2.9%
		2. 昇給に伴う増加分	278		平均昇給率 1.0%
		3. その他の増減分	△30,392	人事異動新陳代謝等に伴う増減分 △30,392	
手当	△28,395	1. 制度改正に伴う増減分	333	地域手当 54 期末、勤勉手当 279	前年度給与改定に伴う増加分 期末、勤勉手当 年間支給率(月分)の状況 本年度 4.6月分 前年度 4.5月分 増減 0.1月分 本年度給与改定に伴う増加分 地域手当 本年度 11.0% 前年度 10.0% 増減 1.0%
		2. その他の増減分	△28,728	扶養手当 △1,790 地域手当 △2,975 期末、勤勉手当 △13,404 管理職手当 △1,020 時間外勤務手当 △5,157 退職手当 △2,540 通勤手当 △898 住居手当 △944	

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		一 般 職	区 分		一 般 職
7年1月1日 現 在	平均給料月額	364,055円	6年1月1日 現 在	平均給料月額	341,075円
	平均給与月額	466,177円		平均給与月額	433,495円
	平均年齢	49歳2月		平均年齢	45歳6月

(2) 初任給

区 分	学 歴	一 般 職
市	大学卒	227,400円
	高校卒	196,800円
国の制度	大学卒	総合職 230,000円 一般職 220,000円
	高校卒	一般職 188,000円

(3) 級別職員数

区 分	一 般 職			区 分	一 般 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)		級	職員数 (人)	構成比 (%)
7年1月1日 現 在	8 級			6年1月1日 現 在	8 級		
	7 級	1	11.1		7 級	1	7.7
	6 級	1	11.1		6 級	1	7.7
	5 級	2	22.2		5 級	2	15.4
	4 級	1	11.1		4 級	2	15.4
	3 級	3	33.3		3 級	5	38.5
	2 級	1	11.1		2 級	2	15.4
	1 級				1 級		
	計	9	100.0		計	13	100.0

※構成比欄の数字は、表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合していない。

(級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
一般職	補助的又は定型的な業務を行う担当者	担当者	相当高度な知識経験を必要とする担当者	係長及び主査	相当高度な知識経験を必要とする係長及び主査	課 長	相当高度な知識経験を必要とする課長	局長又は部長

(4) 昇給

区 分		一 般 職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	6	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	6	
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	
		3号給 (人)	1
		4号給 (人)	5
比 率 (B) / (A) (%)	100		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	13	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	12	
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	
		3号給 (人)	2
		4号給 (人)	10
比 率 (B) / (A) (%)	92.3		

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の級等による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.3 (1.2)	2.3 (1.2)	4.6 (2.4)	有	
前 年 度	2.25 (1.175)	2.25 (1.175)	4.5 (2.35)	有	
国 の 制 度	2.3 (1.2)	2.3 (1.2)	4.6 (2.4)	有	

※支給期別支給率欄及び支給率計欄の()内の数字は、再任用職員の支給率

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709
国 の 制 度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709

(7) 地域手当

区 分	一 般 職
支給対象地域	全 地 域
支給率 (%)	11
支給対象職員数 (人)	6
国の指定基準に 基づく支給率 (%)	11

(8) 特殊勤務手当

区 分	一 般 職
給料総額に対する比率 (%)	0
支給対象職員の比率 (%) (7年1月1日現在)	0
代表的な特殊勤務手当の名称	-

(9) その他の手当

区 分	市	国
扶 養 手 当		
配 偶 者	7,700円	3,000円
配偶者以外の扶養親族	子 10,100円 父母等 7,700円	子 11,500円 父母等 6,500円
配偶者のない職員の 扶養親族のうち1人	子 11,600円 父母等 7,700円	子 11,500円 父母等 6,500円
満16歳の年度初めから満22 歳の年度末までの子 (加算)	5,500円	5,000円
住 居 手 当	30,000円を限度	28,000円を限度
通 勤 手 当	55,000円を限度 (片道2km未満を除く。)	150,000円を限度 (片道2km未満を除く。)

債務負担行為に関する調書

(単位 千円)

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支 払 義 務 発 生 (見 込) 額		当 該 年 度 以 降 の 支 払 義 務 発 生 予 定 額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額	期 間	金 額	企 業 債	事 業 収 益
うわまち病院事業 新 市 立 病 院 開 院 支 援 業 務 委 託	44,770	令和4年度 ～ 令和6年度	11,440	令和7年度	33,330	0	33,330
うわまち病院事業 有 形 固 定 資 産 購 入 費	5,021,930	令和6年度	4,547,514	令和7年度	474,416	474,400	16

令和7年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位 千円)

		資 産 の 部	
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア	地		5,771,065
イ	建物	36,151,728	
ウ	構築物	708,954	
エ	器具及び備品	11,664,516	
オ	建設仮勘定	393,806	
	減価償却累計額	△21,814,020	
	減損損失累計額	<u>△415,631</u>	<u>26,689,353</u>
	有形固定資産合計		32,460,418
(2) 無形固定資産			
ア	電話加入権		<u>3,681</u>
	無形固定資産合計		<u>3,681</u>
	固定資産合計		32,464,099
2 流動資産			
(1)	現金預金		6,650,638
(2)	未収金	105,116	
	貸倒引当金	<u>△2,857</u>	102,259
(3)	前払費用		<u>8</u>
	流動資産合計		<u>6,752,905</u>
	資産合計		<u><u>39,217,004</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

27,774,150

企業債合計

27,774,150

(2) 引当金

ア 退職給付引当金

59,625

引当金合計

59,625

固定負債合計

27,833,775

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

1,659,315

企業債合計

1,659,315

(2) 未払金

136,342

(3) 未払費用

24,853

(4) 引当金

ア 賞与引当金

3,958

イ 法定福利費引当金

793

引当金合計

4,751

(5) 預り金

3,099

流動負債合計

1,828,360

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額

867,349

イ 補助金

1,226,276

ウ その他長期前受金

102,291

収益化累計額

△1,578,577

長期前受金合計

617,339

繰延収益合計

617,339

負債合計

30,279,474

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		<u>13,488,206</u>
資 本 金 合 計		13,488,206
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
ア 受贈財産評価額	2,055,770	
イ 補 助 金	17,300	
ウ 寄 附 金	1,000	
エ 他会計補助金	<u>1,987,556</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		4,061,626
(2) 欠 損 金		
ア 当 年 度		
未 処 理 欠 損 金	<u>8,612,302</u>	
欠 損 金 合 計		<u>8,612,302</u>
剰 余 金 合 計		<u>△4,550,676</u>
資 本 合 計		<u>8,937,530</u>
負 債 資 本 合 計		<u>39,217,004</u>

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	10～50年
器具及び備品	4～20年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 7,766千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 1,417千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、総合医療センターの2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「総合医療センター事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
総合医療センター事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	総合医療センター	合 計
セグメント資産	6,697,841	32,519,163	39,217,004
セグメント負債	2,460,249	27,819,225	30,279,474
その他の項目 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	592,508	410,909	1,003,417

IV. 減損損失

1 グループिंगの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグループングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	施設・場所
市民病院	土地、建物、構築物、器具及び備品	市民病院 横須賀市長坂1丁目
遊休資産	土地、建物、構築物	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 横須賀市太田和2丁目

市民病院は、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

遊休資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を認識しているが、正味売却価額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

令和6年度横須賀市病院事業予定損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 千円)

1 医業収益			
(1) 他会計負担金	652,610		
(2) その他医業収益	<u>35,718</u>	688,328	
2 医業費用			
(1) 給与費	73,564		
(2) 経費	813,632		
(3) 減価償却費	1,130,375		
(4) 資産減耗費	<u>15,000</u>	<u>2,032,571</u>	
医業損失			1,344,243
3 医業外収益			
(1) 受取利息	20		
(2) 補助金	36,821		
(3) 他会計補助金	14,000		
(4) 他会計負担金	332,390		
(5) 長期前受金戻入	58,319		
(6) その他 医業外収益	<u>170,207</u>	611,757	
4 医業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	132,670		
(2) 雑損失	<u>33,034</u>	<u>165,704</u>	<u>446,053</u>
経常損失			898,190
5 特別利益			
(1) 過年度 損益修正益	2,000		
(2) その他特別利益	<u>174,293</u>	176,293	

6 特別損失			
(1) 過年度 損益修正損	2,000		
(2) その他特別損失	<u>229,146</u>	<u>231,146</u>	△54,853
7 予備費			
(1) 予備費	<u>2,000</u>	<u>2,000</u>	<u>△2,000</u>
当年度純損失			955,043
前年度 繰越欠損金			<u>6,220,825</u>
当年度 未処理欠損金			<u><u>7,175,868</u></u>

令和6年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位 千円)

資 産 の 部		
1	固 定 資 産	
	(1) 有形固定資産	
	ア 土 地	5,771,065
	イ 建 物	35,889,000
	ウ 構 築 物	708,954
	エ 器具及び備品	11,673,462
	オ 建設仮勘定	184,169
	減価償却累計額	△20,207,507
	減損損失累計額	<u>△415,631</u> <u>27,832,447</u>
	有形固定資産合計	33,603,512
	(2) 無形固定資産	
	ア 電話加入権	<u>3,681</u>
	無形固定資産合計	<u>3,681</u>
	固定資産合計	33,607,193
2	流 動 資 産	
	(1) 現金預金	4,965,813
	(2) 未 収 金	1,639,628
	貸倒引当金	<u>△2,857</u> 1,636,771
	(3) 前 払 費 用	<u>8</u>
	流動資産合計	<u>6,602,592</u>
	資 産 合 計	<u>40,209,785</u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 28,527,564

企業債合計 28,527,564

(2) 引当金

ア 退職給付引当金 51,263

引当金合計 51,263

固定負債合計 28,578,827

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 506,388

企業債合計 506,388

(2) 未払金 439,904

(3) 未払費用 10,262

(4) 引当金

ア 賞与引当金 7,766

イ 法定福利費引当金 1,417

引当金合計 9,183

(5) 預り金 3,099

流動負債合計 968,836

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額 867,349

イ 補助金 1,124,629

ウ その他長期前受金 102,291

収益化累計額 △1,534,112

長期前受金合計 560,157

繰延収益合計 560,157

負債合計 30,107,820

資 本 の 部

6 資 本 金		
(1) 資 本 金		<u>13,216,206</u>
資 本 金 合 計		13,216,206
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
ア 受贈財産評価額	2,055,770	
イ 補 助 金	17,300	
ウ 寄 附 金	1,000	
エ 他会計補助金	<u>1,987,557</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		4,061,627
(2) 欠 損 金		
ア 当 年 度		
未処理欠損金	<u>7,175,868</u>	
欠 損 金 合 計		<u>7,175,868</u>
剰 余 金 合 計		<u>△3,114,241</u>
資 本 合 計		<u>10,101,965</u>
負 債 資 本 合 計		<u>40,209,785</u>

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	10～50年
器具及び備品	4～20年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。ただし、うわまち病院事業における新市立病院建設事業に従事する職員の退職手当について、一般会計負担とすることとしているため、当該金額については退職給付引当金計上額から除いている。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 7,906千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 1,541千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの事業収益等

当年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	うわまち病院	合 計
医業収益	245,418	442,910	688,328
医業費用	655,750	1,376,821	2,032,571
医業損益	△410,332	△933,911	△1,344,243
経常損益	△215,789	△682,401	△898,190
セグメント資産	6,491,033	33,718,752	40,209,785
セグメント負債	2,147,027	27,960,793	30,107,820
その他の項目			
収益的収入他会計繰入金	394,000	605,000	999,000
減価償却費	458,606	671,769	1,130,375
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	567,888	17,399,673	17,967,561

IV. 減損損失

1 グルーピングの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグルーピングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	施設・場所
遊休資産	土地、建物、構築物	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 横須賀市太田和2丁目

遊休資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を認識しているが、正味売却価額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。